

# にこにこ家族新聞

滑川市立西部小学校  
令和元年9月2日

## 「あつまれ！にこにこ家族」がスタートしました！

いよいよ新学期が始まりました。いかがお過ごしでしょうか。

さて、西部小学校では7月より「あつまれ！にこにこ家族」と題して、子供たちが進んで行う「手伝い」を通じて、『思いやりの心』を集める活動をスタートさせました。その中で、子供たち自身が「何か手助けできないかな」「家族を笑顔にしたい」「たまには楽をしてほしい」など、誰かのために進んで仕事を見付けて頑張れる心を養ってほしいと願っています。今後、継続的にこの活動を続けていきたいと考えています。何卒、ご理解とご協力をお願いいたします。

### 学年別のお手伝い！

学年によってお手伝いの種類はさまざまです。子供たちがどんなお手伝いをしているのかのぞいてみましょう！

#### 低学年

- ◎ お風呂そうじ
- ◎ ご飯の準備や後片付け
- ◎ 洗濯物を干す・たたむ



☆ご飯の後片付けでは「お皿を拭く」お手伝いをした子供が多くいました。

#### 中学年

- ◎ ご飯の準備や後片付け
- ◎ 掃除
- ◎ 弟・妹のお世話
- ◎ 家族へのマッサージ



☆中学年になると、ご飯の後片付けで「お皿を洗う」というお手伝いをしている子供が多くいました。また、弟・妹のお世話を頑張っていた子供も多かったです。

#### 高学年

- ◎ 弟・妹のお世話
- ◎ ご飯の準備や後片付け
- ◎ 掃除（風呂・部屋・玄関等）
- ◎ 洗濯物を干す・取り込む・たたむ

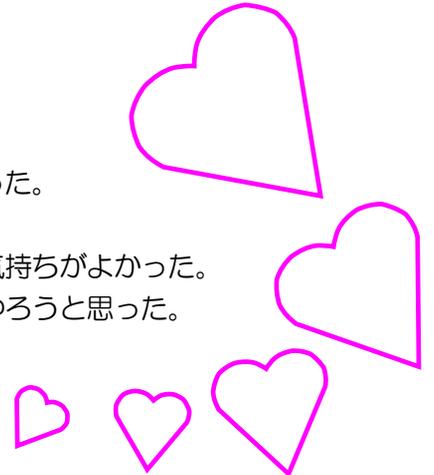


☆高学年では、料理のお手伝いをする子供が多くいました。また、掃除では、家の様々な場所に目を配りながら頑張っていたようです。

### 7月のにこにこ家族を終えて

#### 子供の感想

- ◎ 家族の役に立ててうれしかった。
- ◎ 相手に喜んでもらえるとうれしかった。
- ◎ 心が温かい気持ちになった。
- ◎ 自分から手伝いをすると、何だか気持ちがよかった。
- ◎ 小さいことでも普段から見付けてやろうと思った。
- ◎ お母さんが笑顔になってくれた。



#### 保護者の感想

- ◎ 仕事を終えて家に帰ると、家がきれいになっていてうれしかった。「明日も頑張ろう」という気持ちになった。
- ◎ 子供をすごく頼もしく感じました。
- ◎ ゲームばかりしていたのに、周りを見て手伝いをしようとしてくれたのでうれしかった。
- ◎ 決めた手伝いはできなかったけど、小さなお手伝いを探してやってくれていたのが、うれしくてとても心が温かくなったよ。ありがとう。
- ◎ 毎日階段がピカピカでした。掃除をしてくれていたんだと思うと、自然とにっこりしてきました。

### 「ありがとう」は魔法の言葉！

今回の取組で、多くの子供が「他にもお手伝いをしたい」「褒められてうれしかった」「喜んでくれたら自分までうれしくなった」等、前向きな感想をもっていました。

また、子供と保護者の声で特に多かったのは、「温かい気持ちになった」ということでした。手伝いを通じて、お家の中が「にこにこハート＝温かい心」でいっぱいになるといいですね。

最後に一人の子供の感想を紹介します。

私がお手伝いをすると、お母さんが「ありがとう」と言ってくれました。私は、その言葉を聞いてとても心が温かくなりました。これからもお手伝いをしていきたいです。

とても素敵な感想ですね。「ありがとう」の一言で、心が温かくなり、もっと頑張りたいと感じる。「ありがとう」は、まさに魔法の言葉ですね。